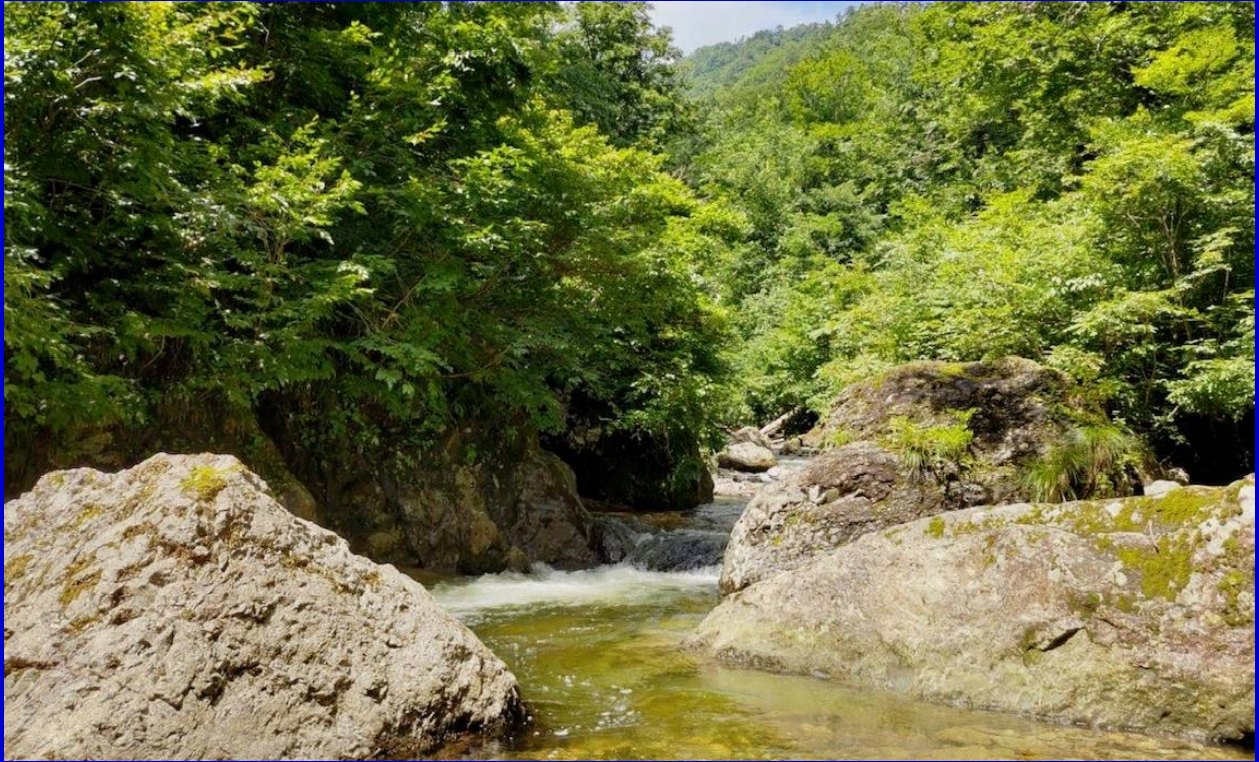


# ゆるり2人釣行



日程 2024/7/20~21

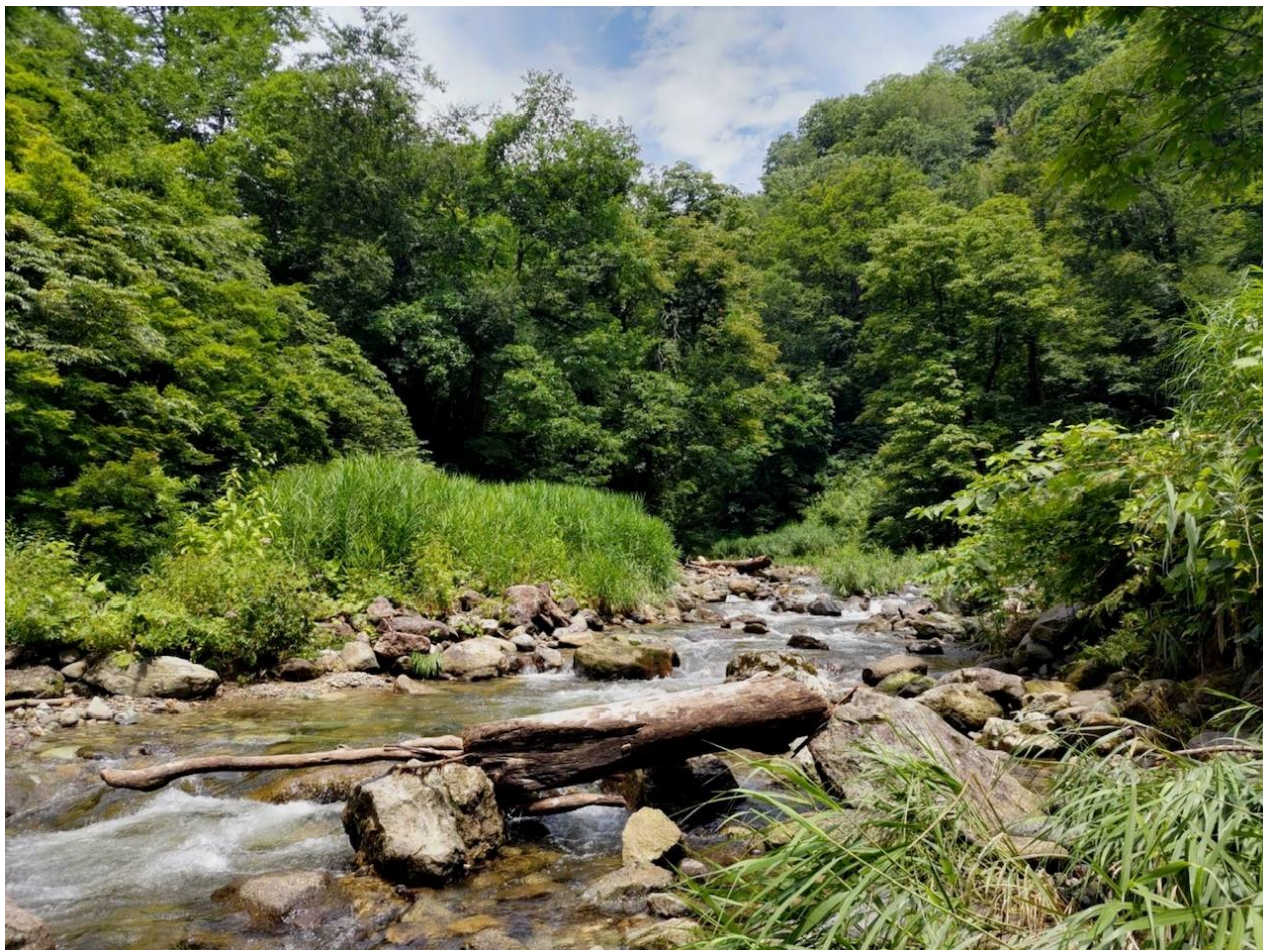
メンバー 石綱、岩戸

1か月前の『知的探求 釣行』含めて、入会からこれまで色々な事を学んできた。学んだ後は、実践して自分のものに定着化させるのが次のステップだ。今回は石綱さんと2人だけの少人数釣行なので、人に頼らず自分でやれるいい機会だ。



さて、行きますか！ 6時出発！

ゆったりペースで1時間弱林道を進む。途中、道を見失うが川底に降りられそうな所を探してなんとか入渓。計画よりも少し下に降りてしまった様で、3, 4か所2~3mの落ち込みを巻きながら遡行していくと、平穏な溪相となった。



藪からクマがでそうな雰囲気



爆竹を鳴らして



休憩中のクマの様な背中

さてさて、竿を出しながらゆったり前進していると、10 時ごろに目的のテンバにあっけなく到着。タープを張り、焚き木を集めていると突然大粒の雨。とりあえずタープの下で小休止。

『ん～雨だし、とりあえずカンパイしますか・・・』『しますか・・・』

プシュッ、ごくごく・・・、美味しいなー、ごくごく・・・、うまいなー。

『もう一本、開けていいですか?』『開けますか・・・』

プシュッ、ごくごく・・・、2 本目も美味しいなー、ごくごく・・・



まだ 10 時ですよ



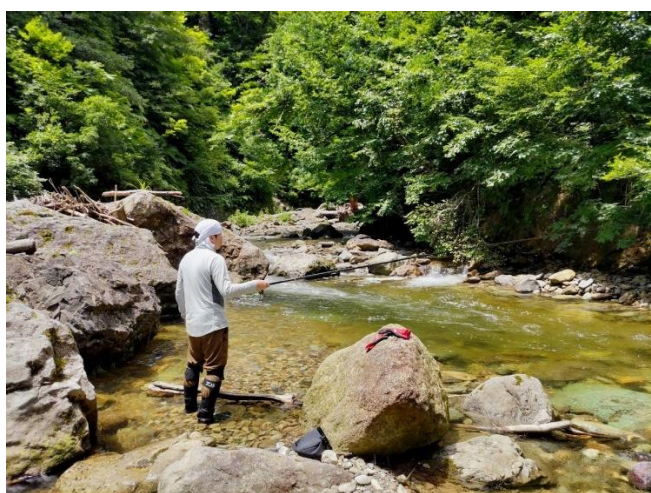
そうだね

2 本目を飲んだところで雨は止んだが、お尻に根が張り出してしまいこのまま宴会へ突入か?・・・という雰囲気になった。そうなるここまで何をしに来たのか本末転倒。『えい! やあ!』と気合を入れなおして竿を持ち上流へ出発。大物が釣れるか!? つぬけの爆釣か!? と期待を膨らませてレッツらゴー!

今回、自分への実践ミッションとして“岩魚の刺身をさばく”を考えていた。それなりのサイズの岩魚が必要だ。竿の振り込みもかなり上達して思った場所に仕掛けを落とせるようになってきた。その甲斐もありポツポツと釣れてくれた。



それなりのサイズが釣れました



ちょっとサマになってきたっす！



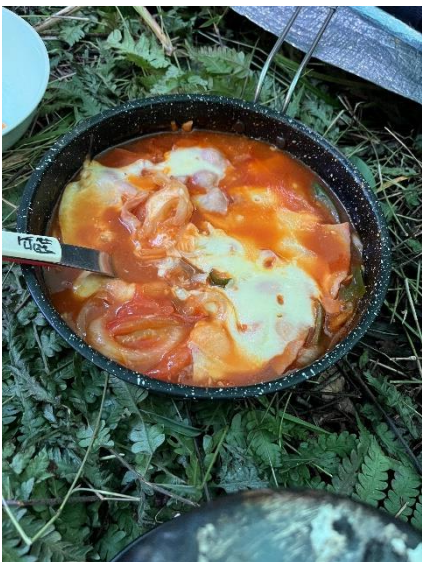
結構上流ですが、チビヤマメも

一方、石綱さんはテンカラで挑んだが釣果が振るわず。今日はエサ釣りに軍配が上がりました。14時すぎ雲行きがまた怪しくなってきたので、岩魚を数匹キープして納竿。一路テンバへ帰還。

『さあて、宴会ははじめますか〜』『じゃ、イワナさばきますわ〜』ってやってみたものの、全然きれいにさばけない。腕も悪けりゃ、道具も 100 均で買ったおもちゃみたいな包丁だったので、とても刺身にはならない“グズグズ”な切り身となってしまった（悔しくて写真は撮ってない）。ちゃんとした包丁かナイフを買って、再度チャレンジしたい。

また魚さばきだけじゃなくもう一つ、うまく出来なかったことがあった。“濡れた焚き木での火起こし”である。会の手練れの方々が、雨の後でも火を起こすところを何度か見てきて、熱を籠らせるのがポイントと教えてもらったが、実際やってみるとこれまた難しい。結局この日は、焚火無しの少し寂しい夜となった（これも悔しくて写真は無し）。これもまたどこかで、リベンジしたい。

そんなこんなありましたが、2 人では十二分なほどの料理をならべて大豪遊。岩魚は天ぷらにしようかと考えていましたが、すでに満腹。宴会のめにコンソメスープにしたら、これもまた美味い！ 満腹・満足な晩餐となりました。



イタリアンな一品



ひじきの炊き込みご飯



グズグズ岩魚スープ

翌朝、ゆるりと起きて朝食。後かたづけをして撤収。帰りは順調に、テンバから車止めまで 2 時間かからずに帰還となりました。



沢ガニと戯れていたら、爪の付け根をメリメリと切り裂かれた



2人釣行もいいものですね！

また行きましょう！！